

“ふじのくに” 士民協働事業仕分け結果（事業別個表）

事業番号	2	事業名	中小企業向制度融資促進費助成
------	---	-----	----------------

1 基本情報

実施日／班名	10月15日 第1班	時間	11:37～12:30
担当課名	経済産業部 商工金融課	事業費	3,338,624 千円

2 判定結果

仕分け結果		県民評価者判定内訳(人)					
県実施 (一部見直し)	判定区分別	行政関与不要	1	国・市町実施	0		
		行政関与必要	⑰	県実施	⑰		
					<table border="1"> <tr> <td>抜本見直し</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>一部見直し</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>現行・拡充</td> <td>4</td> </tr> </table>	抜本見直し	5
	抜本見直し	5					
	一部見直し	⑧					
現行・拡充	4						
判定理由別	仕分け結果と同一区分を判定した県民評価者の主な判定理由内訳(人、複数回答有)						
	・事業効果の把握・検証方法や目標の設定方法を見直すべき				4		
	・サービス水準や対象者を見直すべき				2		

3 具体的な見直し・改善策又はその他意見

<p><行政関与不要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民の税金をこれに導入するのはもったいない。 ・ 事業の事務的運営は必要(相談員としては必要と思う)だが、経営のプロへの紹介にしたらどうか？行政では力不足と思う。 ・ 会社がつぶれそうでこのお金を借りる人が現状と思う。この人たちにとってとても助かりますが、このお金は県税です。県民が納得していないと思う。会社を立ち上げるためなら OK ですが。 ・ 中小企業のオーナーさんは、苦しいときは県のこのお金を頼りにしない。一般の銀行でオーナーさんは自分たちで何とかしている。 <p><県実施(抜本見直し)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一過性の資金繰りのために融資を受けた企業が業績上向きになってきた場合も継続的に利子補給しなければならないかは不明瞭に感じる。何か他に条件をつけることはできないのか？と思う。この先のことを考えると不安が残る事業。 ・ 効果が上がってこそその貸付け。 ・ ビジネス(視点を変えてみるという意味で)としての考えを持って見直すことも必要では。 ・ 利子補給について抜本的に見直しが必要なのでは。33億円もの金の出費は考えるべき。 <p><県実施(一部見直し)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利子補給金は見直す必要があると思う。 ・ 本当に、中小企業の方々は現状企業が海外に進出してしまっているの、気持ちとして、日本の経済をど
--

のように改善していけばよいのか大変だと思います、国がもう少ししっかりしてほしい。

- ・ 景気が回復する見込みありきで予算を組むのはあまりに危険だと感じるため、利子補給金枠には上限を設けるべきだと思う。これに伴って、経営安定資金への利子補給率を見直す必要がある、
- ・ 事業資金と安定資金の補給率の差を縮める方向を目指す。
- ・ 景気回復に対して楽観的に考えすぎではないだろうか？
- ・ 事業費が際限なく膨張していく制度に問題がある。低利の制度を安易に利用する懸念はないか。
- ・ 質問者の趣旨が、回答者に十分に理解されていないように思った。
- ・ 今より審査を厳しくすることはできないでしょうか。
- ・ 利子補給はしない。
- ・ 融資限度額を明確にする。
- ・ 融資効果の見える化が必要。

<県実施(現行・拡充)>

- ・ 本来は円高対策も含め、国が日本の産業をしっかり守る対応を行うべきだと思います。しかし国の対応を待っていたら中小企業はつぶれてしまうので、今は冬の時代として、非常時の対応として、中小企業を守っていく必要はあると思います。
- ・ 静岡県は製造業なしでは考えられないと思いますし、その技術・技能は途切れたら二度と戻りません。
- ・ 経済情勢を正確に把握し、今後も適切な運営を行ってほしい。(雇用の確保のため)
- ・ 中小零細企業の利用率20%は高いのか低いのかよくわからない。(県の利子補給制度がどこまで浸透しているのか?)